

第50期通常総会

鹿児島市管工事協同組合



50周年を機に新たな再出発を——と挨拶する肥後理事長＝鹿児島市の鹿児島市管工事会館で

鹿児島市管工事協同組合(肥後勝司理事長)は27日、鹿児島市の鹿児島市管工事会館で第50期通常総会を開き、新年度事業計画を決定した。任期満了に伴う役員改選では、肥後理事長(中央工業)を再選した。

総会に先立ち、物故者に黙とうを捧げた後、肥後理事長が「今年、組合創立50周年を迎え、生き残りをかけて真剣に考え



上山秀満新理事長

県測量設計コンサル協組総会

新理事長に上山氏

点方針とする新年度事業計画を決定したほか、任期満了に伴う役員改選では、上山秀満氏(中央テクノ)を新理事長に選任した。

総会では、初めに小山理事長が「16年度は15年度の反省を踏まえて、従来の仕事である共同購買事業、共同受注事業、金融事業などを積極的に推進していきたく、組合員の方々の協力をお願いします」と挨拶。

引き続き、川上重典氏(株大測量設計)を議



官公需事業の受注実施体制の整備等も決めた総会＝鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで

鹿児島市管工事協組総会

肥後理事長 再選 時流に適應した業界へ

鹿児島市管工事協同組合(肥後勝司理事長)は27日、鹿児島市の鹿児島市管工事会館で第50期通常総会を開き、新年度事業計画を決定した。任期満了に伴う役員改選では、肥後理事長(中央工業)を再選した。

総会に先立ち、物故者に黙とうを捧げた後、肥後理事長が「今年、組合創立50周年を迎え、生き残りをかけて真剣に考え

る時期にきている。新たな発想が必要であり、環境に適應した者だけが生き残る時代。今一度設立の原点に立ち返り、時流に適應した業界を目指し、これを機に新たな再出発したい」と挨拶。

続いて、議長に和田正憲副理事長(アイワ工業)を選出し、議事に入り、15年度事業報告・収支決算、16年度事業計画・収支予算案など9議案を審

議、すべて原案通り可決承認した。また、役員改選は肥後理事長をはじめ、全役員の留任を決めたほか、役員補充で吉屋義博氏(南吉屋興業)を選出した。

また、組合創立50周年記念事業について、青木英一郎実行委員長が記念植樹や記念式典(11月20日予定)の開催等について説明した。

新年度事業計画は、①CADによる給排水申請業務の利用拡大策や当局からの下水道取付工事、給水切替工事の円滑な推進②組合委託事業等材料

の円滑な供給③上下水道管布設工事の責任施工体制強化や各技術、技能講習会の開催④安全衛生体制の確立と安全管理講習会及び安全パトロールの実施⑤組合創立50周年記念事業など。

新役員は次の通り。

理事長＝肥後勝司(肥後勝司) 副理事長＝和田正憲(アイワ工業) 理事＝和泉昭司(和泉昭司) 監事＝三和興業(株)

の円滑な供給③上下水道管布設工事の責任施工体制強化や各技術、技能講習会の開催④安全衛生体制の確立と安全管理講習会及び安全パトロールの実施⑤組合創立50周年記念事業など。

新役員は次の通り。

理事長＝肥後勝司(肥後勝司) 副理事長＝和田正憲(アイワ工業) 理事＝和泉昭司(和泉昭司) 監事＝三和興業(株)

事務所協会川薩支部総会



今村裕支部長

再選 スクラム組み結束を

では何もできず、全体でまとまらなければ前に進まない。当支部では建築関連団体と一緒に事業を活動しているわけで、今後も協力しながらさまざまな課題に取り組んでいきたい。川内土木事務所が再編統合し、また10月には市町村合併もある。現状は大きく変わっている。皆で力をスクラムを組んでやっていきたいと思います」と呼び掛けた。

来賓の大原達也会長は「結束ある支部活動を推進

新役員は次の通り。

支部長＝今村裕(株アシスト設計) 支部副部長＝川内史雄(川内建築設計) 下園政喜(宇都都建築設計事務所) 常務理事＝西一紀(西建築設計事務所) 橋口知章(橋口組) 一級建築士事務所 〇理事＝徳丸節男(徳丸組) 一級建築士事務所 〇理事＝宮田修一(宮田建築設計事務所) 〇理事＝奥哲也(奥建築設計事務所) 〇理事＝吉永親(吉永建築設計事務所) 〇理事＝中俣知大(一級建築士事務所教養舎) 〇理事＝上廣幸(南井上設計事務所)

県宅地建物取引業協会総会

組織整備の強化柱に



土地流通対策事業の推進等も決めた総会＝鹿児島市の県市町村自治会館で

選した。

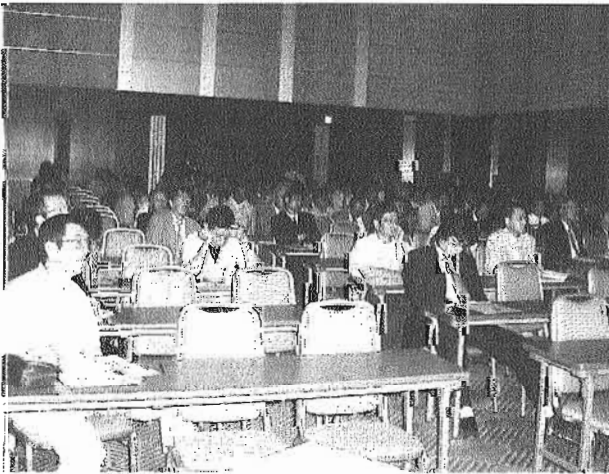
総会では、竹添会長が「国では景気動向について緩やかな回復過程をた

災害防止と対策詳説

日本地すべり学会九州支部(玉田文吾支部長)は27日、鹿児島市のマリパレスかごしまで16年度九州支部総会及び講演会を開き、会員及び官公庁の担当者約150人が出席、16年度の事業計画を決定するとともに、地すべりなどの発生と対策などについて学んだ。

同日は、講演に先立ち16年度九州支部総会が行われ、15年度決算報告、16年度予算案・事業方針などを決定したほか、16年度支部長選出で玉田支部長の留任等を決めた。

次いで、講演では玉田文吾西日本工業大学名誉教授が「2003年鹿児島県鹿児島市の流動型崩壊の発生機構」、大山寿郎氏(県土木部砂防課)が「県におけるソフト対策



真剣に耳を傾ける受講者＝鹿児島市のマリパレスかごしまで

「県におけるソフト対策

の取り組み状況」について特別講演を行った。また、「横井排水ボーリングのリフレッシュ工法」、「切土斜面変状の時間的変化と降雨量との関係」、「大規模地すべりにおける浸透流解析」、「切土に伴う道路路面の変状発生と対策」、「平成15年7月の集中豪雨により発生した斜面崩壊」、「トカラ列島中之島における巨大地すべりの変状状況」、「種子島南部の泥岩層における斜面変動事例」について、(株)カケガミ、(株)福山コンサルタンツ、(株)アイエス、アジアテック(株)、(株)日本地研、(株)日本地下技術の担当者らがそれぞれ講演した。

また、きょう28日は桜島の砂防現地見学会も行

の取り組み状況」について特別講演を行った。また、「横井排水ボーリングのリフレッシュ工法」、「切土斜面変状の時間的変化と降雨量との関係」、「大規模地すべりにおける浸透流解析」、「切土に伴う道路路面の変状発生と対策」、「平成15年7月の集中豪雨により発生した斜面崩壊」、「トカラ列島中之島における巨大地すべりの変状状況」、「種子島南部の泥岩層における斜面変動事例」について、(株)カケガミ、(株)福山コンサルタンツ、(株)アイエス、アジアテック(株)、(株)日本地研、(株)日本地下技術の担当者らがそれぞれ講演した。

また、きょう28日は桜島の砂防現地見学会も行

の取り組み状況」について特別講演を行った。また、「横井排水ボーリングのリフレッシュ工法」、「切土斜面変状の時間的変化と降雨量との関係」、「大規模地すべりにおける浸透流解析」、「切土に伴う道路路面の変状発生と対策」、「平成15年7月の集中豪雨により発生した斜面崩壊」、「トカラ列島中之島における巨大地すべりの変状状況」、「種子島南部の泥岩層における斜面変動事例」について、(株)カケガミ、(株)福山コンサルタンツ、(株)アイエス、アジアテック(株)、(株)日本地研、(株)日本地下技術の担当者らがそれぞれ講演した。

また、きょう28日は桜島の砂防現地見学会も行